

岡山県内における輸血用血液製剤の供給状況について

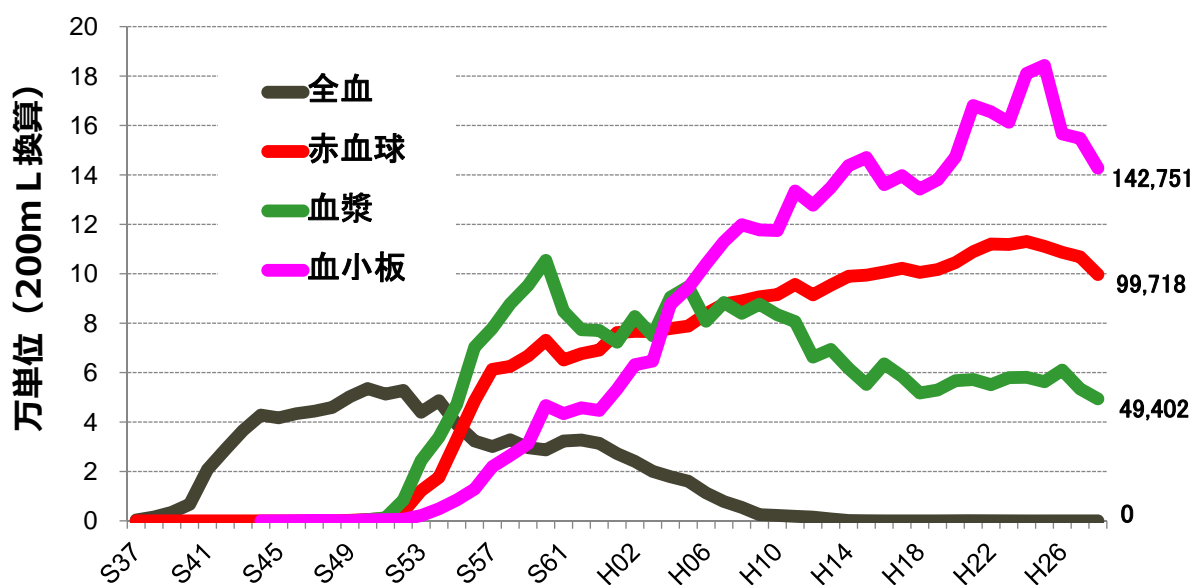
平成29年度輸血用血液製剤の供給に関する懇談会



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

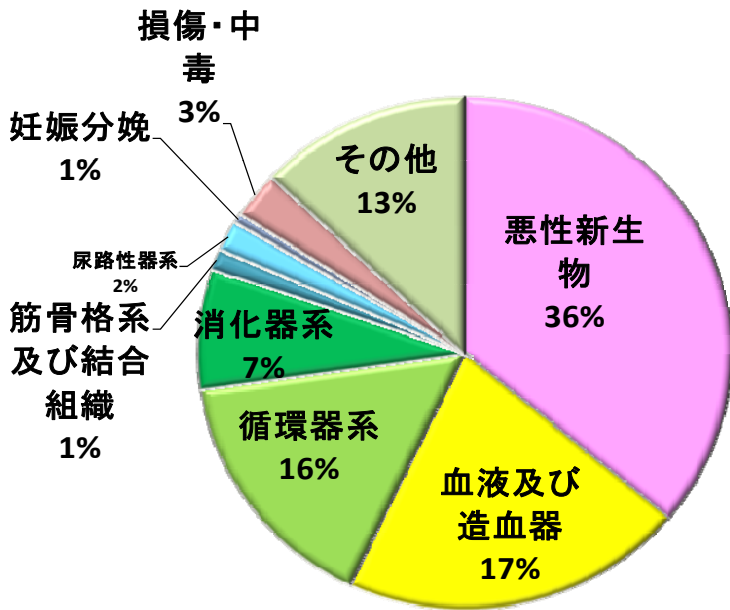
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

岡山県の輸血用血液の使用量



平成25年度までは赤血球、血小板ともに増加傾向が顕著でしたが、平成26年度からは減少傾向を示しています。

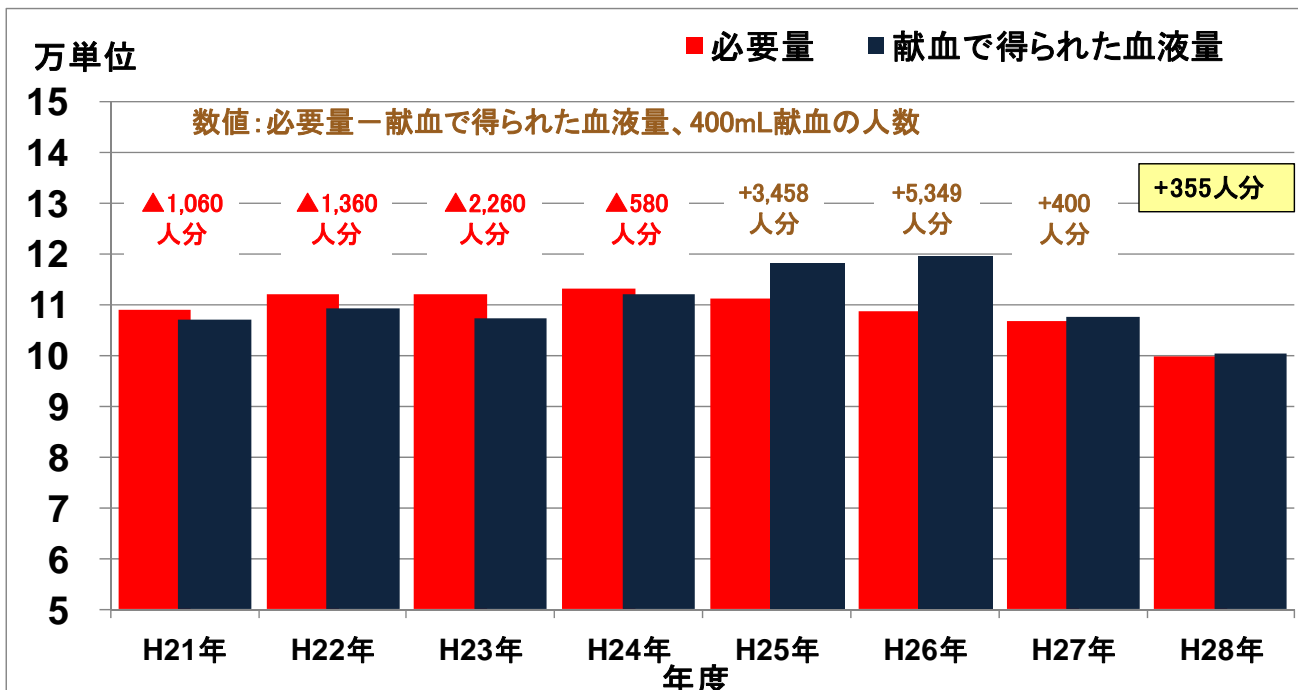
疾病別輸血状況



輸血用血液の多くは悪性新生物（がん）と血液疾患の患者の治療に使われている。

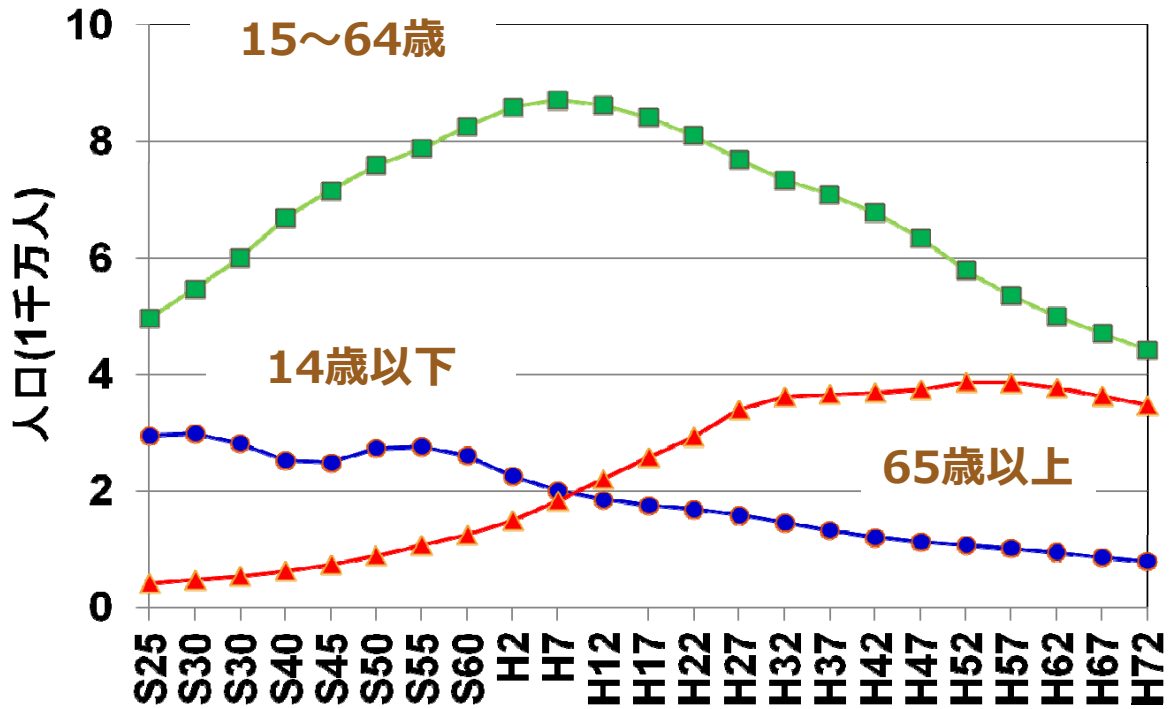
※岡山県では医療機関からのデータがないため、東京都福祉保健局「平成27年輸血状況調査集計結果」より抜粋（使用目的不詳を除く）

岡山県年度別赤血球充足状況

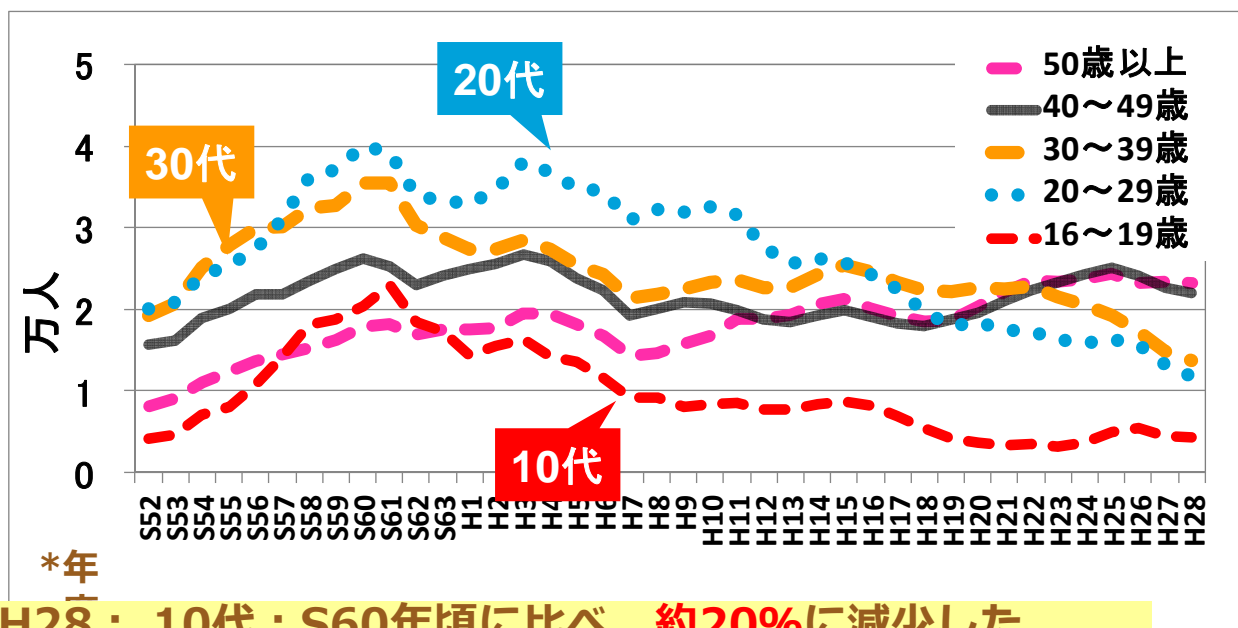


平成21年度以降 県内で必要な量が不足していたが、平成25年度以降は必要量を充足できるようになった。

日本人の年齢構成



岡山県の年代別献血者数の推移



H28 : 10代 ; S60年頃に比べ、約20%に減少した。
 20代 ; S60年頃に比べ、約30%に減少した。
 30代 ; S60年頃に比べ、約40%に減少した。
 近年さらに減少傾向にある。

供給体制（人員及び車両） H29.4.1 現在

・ 職員数

岡山センター 19名
津山供給出張所 10名



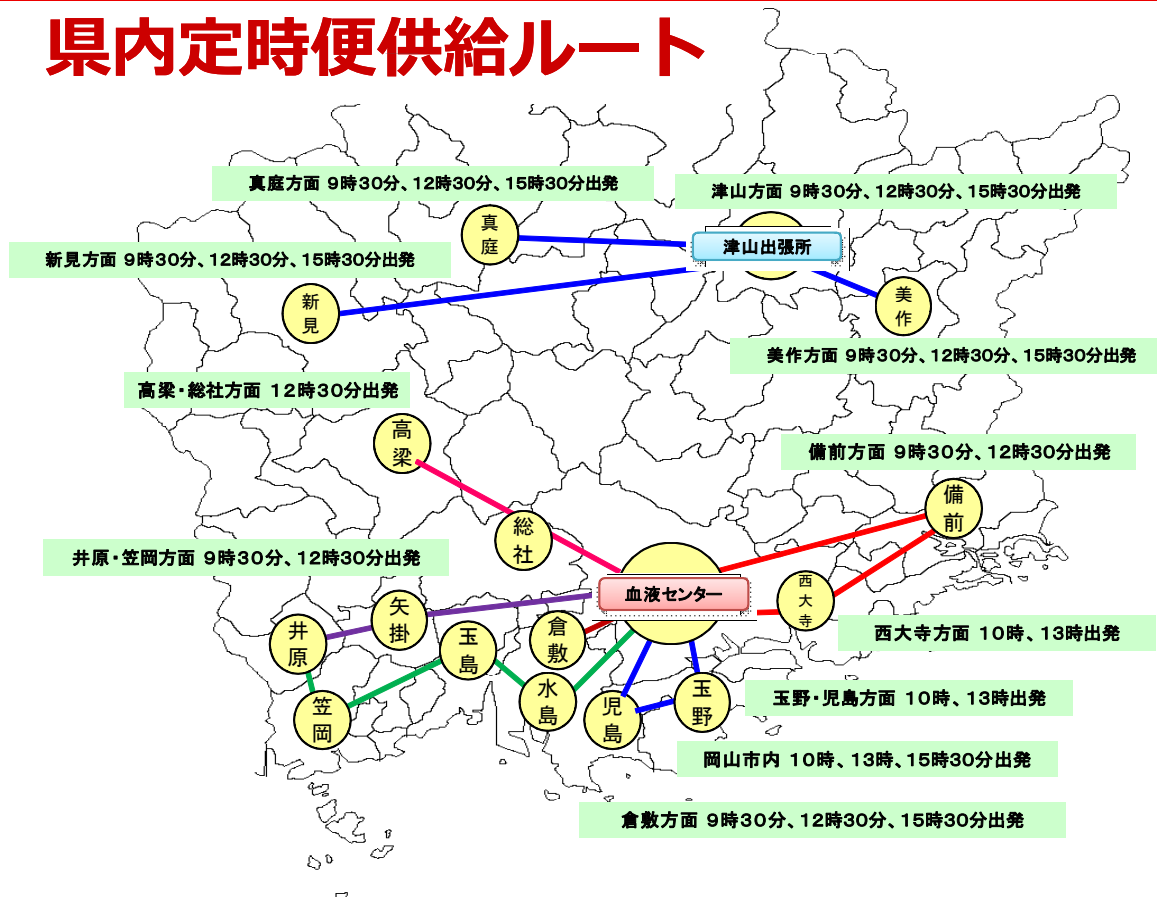
・ 平日の勤務体制

岡山センター 日中12名 夜間2名
津山供給出張所 日中 4名 夜間2名

・ 血液運搬車両（緊急車両）

岡山センター 8（4）台
津山供給出張所 4（4）台

県内定時便供給ルート

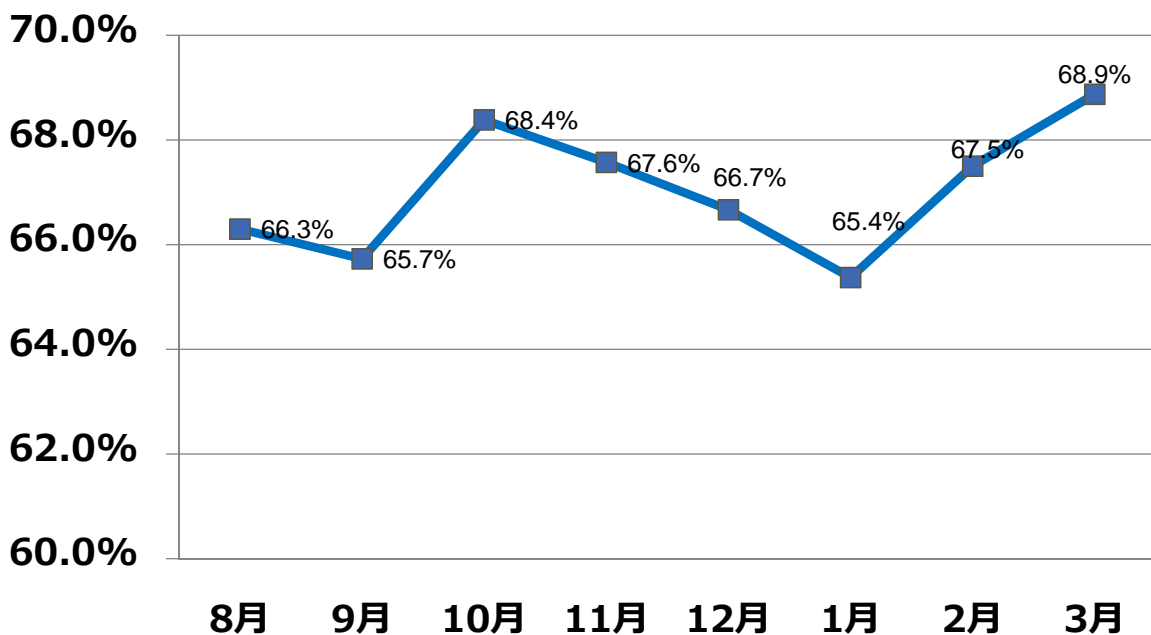


供給体制（便設定と出発時間）

方面	便	出発時刻	医療機関へお届けする時間
岡山市内 (西大寺を除く)	1便	10:00頃	10:30~11:30
	2便	13:00頃	13:30~14:30
	3便	15:30頃	16:00~16:30
倉敷市内 (水島、玉島、児島を除く)	1便	9:30頃	10:30 ~ 12:00
	2便	12:30頃	13:30 ~ 15:00
	3便	15:30頃	16:30 ~ 18:00
水島・玉島・笠岡・井原・矢掛	1便	9:30頃	水島 10:30頃 玉島 11:30頃 矢掛 12:00頃 笠岡 12:30頃 井原 13:00頃
	2便	12:30頃	(倉敷経由)15:00~15:30
玉野市・倉敷市児島	1便	10:00頃	11:00~12:30
	2便	13:00頃	14:00~15:30
総社市・高梁市	1便	12:30頃	14:30~15:30
赤磐市・和気町・備前市	1便	9:30頃	赤磐市 10:00頃 和気 11:00頃 備前市 12:00頃
	2便	12:30頃	13:00頃 14:00頃 15:00頃
岡山市西大寺・瀬戸内市	1便	10:00頃	西大寺 11:00頃 瀬戸内市 12:00頃
	2便	13:00頃	14:00頃 15:00頃
津山市・真庭市・新見市・美作市	1便	9:30頃	津山市 9:45~11:00 真庭市 10:15~11:00 新見市 10:30~11:00 美作市 10:00~10:30
	2便	12:30頃	13:45~14:30 13:15~14:30 13:30~14:30 13:00~14:30
	3便	15:30頃	15:45~17:00 16:15~17:00 16:30~17:00 16:00~17:00

8

定時配送便の割合（平成28年8月～平成29年3月）



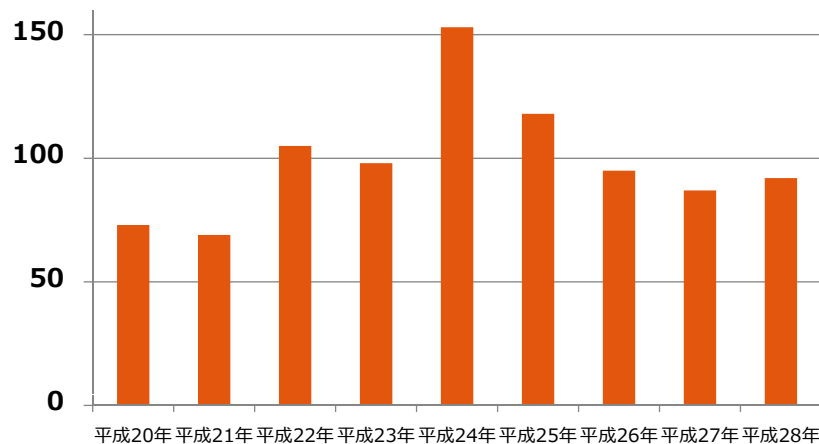
9

血液製剤の緊急配送について

患者様の状態により一刻を争う場合は緊急配送を行っています。

近年は年間100件程度の要請数となっています。

緊急走行依頼件数



10

緊急走行とは

緊急自動車の運転資格を有したものが、公安委員会の指定を受けた緊急自動車で、サイレン及び赤色警光灯を使用して走行すること

緊急自動車の特例

- ・ 右側通行の特例
- ・ 停止義務の免除
(信号機、踏み切り、一旦停止標識etc.)
- ・ 追い越し禁止場所での追い越し、二重追い越し
- ・ 最高速度の特例

→緊急走行要請は必要最小限にお願いします

11

緊急輸送依頼証明書について

緊急輸送命令書

緊急走行命令書
年 月 日

年 月 日
岡山県赤十字血液センター

下記により緊急輸送を命ずる。

出 勤 者 _____

医 療 機 関 名
又は供給施設名 _____

製 品 ・ 数 量	製剤名	血液型	本数
		型 Rh()	本
		型 Rh()	本
		型 Rh()	本
		型 Rh()	本

受 注 時 間 _____ 時 _____ 分

出 勤 時 間 _____ 時 _____ 分

備 考 _____

緊急輸送依頼証明書

岡山県赤十字血液センター 御中 医療機関名 _____

主治医(担当者)氏名 _____ 印

緊急輸送を依頼し、輸送されたことを証明します。

依頼理由(○で囲んで下さい)

・緊急手術 ()	・大量出血
・吐血・下血	・産科出血
・交通外傷	・DIC
・高度貧血	・ショック
・その他()	

到 着 時 間 _____ 時 _____ 分

可能な範囲で()に具体的な数値をご記入下さい。

・出血量 (mL)	・ヘモグロビン値 (g/dL)
・血圧 (mmHg)	・赤血球数 (万/μL)
・心拍数 (bpm)	・血小板数 (万/μL)
・ショックインデックス ()	

可能な限り以下の数値も
ご記入ください。

- ・出血量
- ・ショックインデックス(S. I)
- ・Hb値
- ・赤血球数
- ・血小板数
- ・血圧
- ・心拍数

緊急持出血液の運用について

緊急持出血液

(1) 血液センターまたは供給出張所から時間を要し、追加発注の
対応が困難な場合

(2) 供給コースに対して、配送要員の確保（待機要員を含む。）が
困難となった場合

赤血球製剤を規定した数量、専用の容器に挿入



血液運搬車両へ車載



インターネットを利用した 血液製剤発注について

～血液製剤発注システムの紹介～

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

血液製剤発注システム（Web発注システム）について

1.概要

平成26年10月より、従来のFAX及び電話を使用した血液製剤の発注方法に加え、インターネットを利用した血液製剤発注システム（以下、Web発注システムという）の運用を開始しています。

このWeb発注システムは、平成25、平成26年度の供給懇談会でも紹介しており、導入希望があった医療機関から、順次、訪問説明及びデモンストラーションを実施し導入を進めています。

2. 導入状況

平成26年の運用開始以降、県内13医療機関でWeb発注システムが導入され、発注件数の約10%がWeb発注となっています。

①導入医療機関数

平成28年度 納品実績医療機関数	Web発注システム 導入医療機関数	割合
199	13	6.5%

②発注件数割合（平成29年5月実績）

発注件数	Web発注件数	割合
3,168	302	9.5%

15

3. 導入のメリット

Web発注システムを導入することで期待できる効果は以下のとおりです。

①発注作業のシステム化による作業効率の向上

- ・インターネットを利用することによる紙ベースの廃止。ペーパーレス化の実現。
- ・FAX誤送信による情報流出防止。
- ・手書きによる発注内容の記載漏れ防止。
- ・FAX機器の保守管理が不要となり、機器の保守費用削減が可能。

16

② 災害時等、電話回線不通時への対策

固定電話やFAX等の電話回線が断線した場合でもインターネット回線は比較的繋がりやすいという特性があることから災害時の対策としても有効。

インターネット回線は、電話回線や携帯電話のようにいったん回線へ接続するとその回線を独占し続ける訳ではなく、パケット通信を利用し、データを小さい小包単位に分割して相手に送ることから、それぞれの小包が必ずしも同じルートを通るとは限りません。あるルートが混んでいれば自動的に別のルートを探してそこを經由し通信するので回線を使い切ることが少なくなり、比較的繋がりやすいという特性があります。

4. 導入に必要な機器

Web発注システムを導入するにあたり以下の環境が必要です。

① インターネット環境に接続されたパソコン

② マイクロソフトブラウザ

[Internet Explorer](#)の利用を推奨

※ [Google Chrome](#)・[Firefox](#)は未対応

③ プリンター

※ 必須の機器ではありませんが、発注内容を紙ベースで出力する場合に必要となります。紙ベースへの出力処理は任意です。

5. Web発注システムの運用時間

血液製剤の発注については、**原則「前日までの予約」**をお願いしています。しかしながら、患者さまの容態悪化や、検査データ確認後の発注等、現状としては当日発注もやむを得ないのが実情です。

Web発注システムも、年間365日24時間体制で発注を受け付けています。

(重要)

- ・ 定時便出発30分前以降の発注
- ・ 随時便、緊急配送

はWeb発注後に必ず**電話連絡**をお願いします。